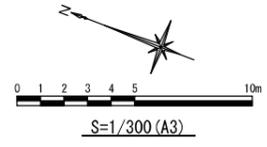


砂丘斜面地区A区
 ・周辺環境に対するバッファとして、常緑広葉樹を主体とした樹林の形成
 ・主屋や芝庭から庭園を望んだ際に背景となる緑

茶庭地区E区
 ・周辺環境に対するバッファとして、常緑広葉樹を主体とした樹林の形成
 ・重要な構成要素である層塔を見せる、暗くなりすぎない樹林の密度管理

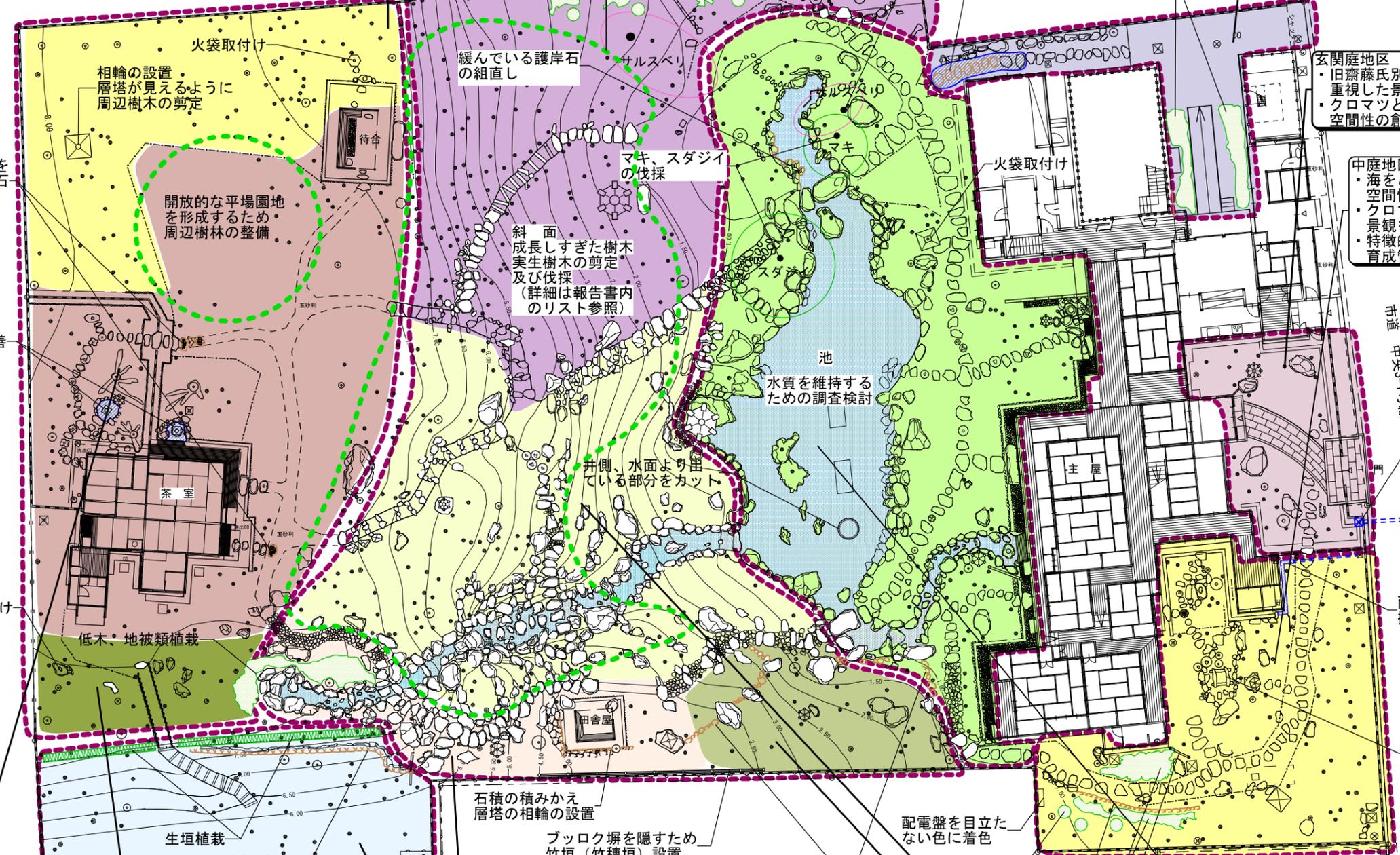
資材置場及び隣地のブロック塀の目隠しに、中木及び低木植栽
 サルスベリの後継樹の植栽
 排水不良の改善
 飛石等によるサービス動線の明確化

南東管理用地地区
 ・庭園や建物の公開活用を支援するサービスヤードとしての維持
 ・機能的で管理しやすい場の創出



玄関庭地区
 ・旧齋藤氏別邸庭園の表玄関の前庭に相応しい、格式を重視した景観の維持
 ・クロマツとモッコクの枝葉により、透けた天蓋を形成した空間性の創出

中庭地区
 ・海をともなう井筒や蹲踞を中心とした露地的な空間性の確保
 ・クロマツ、モッコクによる敷地外への良好な沿道景観を提供しつつも、重くなりすぎない樹冠の形成
 ・特徴的構成樹種（カリン、ザクロ、ユズリハ）の育成管理



砂丘斜面地区C区
 ・周辺環境に対するバッファとして、常緑広葉樹を主体とした樹林の形成

茶室地区G区
 ・周辺環境に対するバッファとして常緑広葉樹を主体とした樹林の形成

砂丘斜面地区D区
 ・隣地に対するバッファと庭園の構成要素としての観賞性とを兼ね備えた竹林の形成

池泉および芝庭地区
 ・砂丘斜面をパノラマ的に見渡せる開放的な空間性の維持
 ・「夏の別邸」の重要な構成要素であるサルスベリの育成管理
 ・池泉護岸石組、景石等の地物地割を効果的に表現できる下草管理
 ・池泉護岸および岩島の適切な保存
 ・水質の維持に関する継続的な調査と対策の検討

砂丘斜面地区B区
 ・庭園の本質的価値を有する滝石組、溪流、景石、飛石、園路の適切な保存
 ・自然主義を基調としたモミジ類、マツ類を主要構成樹種とする美林の維持
 ・林床にコケが広がる樹林の明るさの創出

茶庭地区F区
 ・芝生の広がる開放的な平場園地の形成
 ・根上がり松の適切な保存による茶庭空間の継承

北西管理用地地区
 ・庭園や建物の公開活用を支援する管理拠点としての維持
 ・庭園空間からは視認されにくい植栽によるバッファの形成

旧齋藤氏別邸庭園基本計画平面図